

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第8回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

- ・地域活性化の方向性について
- ・町内会長との情報交換会について

(2) その他（公開）

3 開催日時

令和5年11月27日（月）午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：青木雄司、梅川康輝、大滝英夫、相馬祐一、中島 功（副会長）、
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席2名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認：相馬委員に依頼

次第2 議題「(1) 協議事項」「地域活性化の方向性について」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

・資料1に基づき説明

【藤本会長】

・参考資料1に基づき説明

【山崎主事】

・参考資料2（委員のみ配布）に基づき、津有区アンケート調査の自由記述意見一覧の分野別整理結果について説明

自由記述の意見も、資料1のたたき台の中に概ね網羅されることが確認できた。

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問・意見を求める。

【梅川委員】

資料1②のインフラ整備について、具体的にどういう整備を指しているのか。

【山崎主事】

アンケートでは、「生活インフラ（道路・用水路・除雪など）の整備」という項目になっているので、具体的にどれを指しているのかは、アンケート結果からは読み取れなかった。ただし、他の設問の結果を見ると、雪に困っているとの意見が多かったので、除雪に関する意見が多くを占めているのではないかと個人的には考えている。

【梅川委員】

冬の除雪体制とか、そういうところだと思う。承知した。

【中島副会長】

資料1①問4「『前島密』の関係団体は多く、まとまった方向性があるとよい」とある。前島密の関係団体が多いということは、それぞれ関心があり、それぞれの切り口で色々な取組を行っているということである。一つにまとめとは言えないし、地域協議会としてどう関わっていくのか。それぞれの目的があって設立されている団体なので、あまり立ち入らないほうがいい気がする。

【藤本会長】

私たちは前島密の関係団体の方とも協議してきて、それぞれの団体がそれぞれの思いで活動していることは事実だと思う。地域協議会として、「まとまった方向性があるとよ

い」というところまで踏み込んでいいのかという意見だが、皆さんはどう思うか。地域協議会として一つの目的や目標が立てられるのかというと、結構厳しい。

【山崎主事】

資料では「まとまった方向性があるとよい」と記載しているが、実際には関係団体が多いので、例えば、市が取りまとめて何か一つの方向性を持った方がよいのではないかという意図の意見であったと思う。

【小林所長】

①の意見は意見として残して、②の「さらに前島密の発信力を増すため組織づくりが必要」を削除することを提案する。

【藤本会長】

削除すると、前島密のキーワードが薄まってしまう懸念が出てくるので、削除ではなく表記を変えてはどうか。例えば、前島密の関係団体が多くあるので、地域協議会としては、多くの団体と関わりを持った方がよい、というくらいにトーンダウンさせる表現にする。「まとまった方向性」ではなく、関わりを持つようにしたらどうかということで、前島密の発信力を増すために深い関わりが重要、という形にしておけば、そんなに違和感がないと思う。

地域協議会としては前島密をキーワードに捉えていたので、具体的な目標、ゴールを決めなくても、そういう関わりを大事にすることを謳えばよいのではないか。

このことについて、意見はあるか。

【相馬委員】

前島密の関係団体は、地域協議会においても関わりがある。横に繋げるとかではなく、紹介するくらいでよいのではないか。

【藤本会長】

あまり強い方向性を打ち出すのではなく、前島密には関わっていきたいという事実は述べておくという意味合いだと思う。したがって、①アンケートの「分析」は、『前島密』の関係団体が多い」ということで止めておいて、②「分析」から方向性へでは、「地域住民として『前島密』の各団体と関わりを持ち続ける」という記載にしてはどうか。資料1は町内会長にも確認していただく予定である。

ほかに意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、「前島密」への気持ちを残すという形で修正をする。町内会長との情報交換会で説明した後に、町内会長の意見も反映させ、最終的に私たちの一つの意見として整理をする。

地域活性化の方向性については、委員だけではなく地域の方々の意見も聞いて協議することが大前提だったと思うので、そのような形で進める。アンケートでの地域全体の意見を集約し、さらに町内会長からの意見も反映させる形で行うことでよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に、次第2 議題「(1) 協議事項」「町内会長との情報交換会について」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料2に基づき説明
- ・町内会長との情報交換会での報告を各委員が分担して説明することを提案
- ・参考資料3に基づき説明

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問・意見を求める。

【大滝委員】

これを見て説明しろと言われても、どのような流れで説明したらいいか、人前でうまくしゃべれる自信がない。各自が説明したら結構時間もかかると思う。何かたたき台みたいなものがあるのならまだしも、これで説明しろと言われてたら、私自身は無理である。

【青木委員】

この多くの項目について、説明者が入れ代わり立ち代わりというのは、聞く立場からすると、非常に分かりにくくなってしまう。報告の部分は会長と副会長で説明して、最後に委員全員がメッセージを発表する。その方が参加する町内会長に対してもよいと思う。別に自分がやるのが嫌だということではなく、人が入れ替わると、訳がわからなくなるのではないかと懸念している。

【古川 勝夫委員】

各委員が説明すると、聞く方としては多分聞きづらいと思う。それならば、ある程度決まった人が説明したほうが、皆さんには伝わるのではないか。グループワークをするわけではないので、私はその方がよいと思う。

【藤本会長】

青木委員からの意見で、会長と副会長で説明をし、最後にそれぞれの委員からメッセージを発表する。切り口を決めて発表するというので、できれば網羅的になった方がよいと思う。全員が同じこと言わないように、例えばパンフレットについて特化して説明するとか、地域活動支援事業について発表するという形にすると聞きやすいと思う。同じ内容ではなく、各委員が特に印象に残った活動を、切り口決めて話した方がよいと思う。

このことについて意見がなければ、各委員から発表できる箇所を発言願う。青木委員はいかがか。

【青木委員】

私はパンフレットからしか関わっていない。

【藤本会長】

パンフレットの説明をお願いします。梅川委員はいかがか。

【梅川委員】

主に関わったのはパンフレットからである。

【藤本会長】

大滝委員はどうか。

【大滝委員】

一番、印象に残っていることを考えると、4年前のことまで思い出さなければいけないので、今どれかと言われても答えられない。

【藤本会長】

大滝委員は保留ということで、相馬委員はどうか。

【相馬委員】

確かに一番覚えているのはパンフレットだが、自分は地域活動支援事業にする。

【藤本会長】

相馬委員には地域活動支援事業の審査に関わる部分をお願いします。古川勝夫委員はどうか。

【古川 勝夫委員】

アンケートでもよいか。アンケート結果はこれからも参考に思うので、そのことについても説明する。

【藤本会長】

古川勝夫委員はアンケートということで、古川仁委員はどうか。

【古川 仁委員】

私は令和3年の前島密の関係団体との情報交換会について、自分の考えで説明できる。

【藤本会長】

まとめると、梅川委員と青木委員はパンフレットに特化して説明を、相馬委員は地域活動支援事業にウエイトを置いて話をする。ご自身の4年間を振り返った感想を交えながら、特にその辺りを織り込んでいただくと、一応分散ができる。そこだけに拘泥するわけではない。相馬委員は当日参加できたらということになる。

全体的なことについては、私と中島副会長で分担をして、できるだけ聞き手が嫌にならないように、これから考えていきたい。

【青木委員】

地域活性化の方向性の件だが、「地域活性化の方向性はアンケートの結果を元に作成した」と説明すると、今後どうするのかという話がついてくる。それについては、町内会長にきちんと伝えた方がよいと思う。「これはまとめただけで今後どうするのかは、これからです。」と言っておかないと、もめそうな気がする。

【藤本会長】

この地域活性化の方向性のたたき台については二つの意味がある。

一つは市から各地域協議会に、地域活性化の方向性を作成するようという指示があり、私たち津有区地域協議会ではアンケート調査をしながら、一つの総括として、このたたき台を作成した。

二つ目は、次期委員が着任した時に、このような方向性を考えたので、ぜひその辺りを考えながら話を進めてくださいという、引継ぎ、情報提供のようなものを作っておく必要がある。私たちの時は、前の資料をいただいていたが、訳が分からない状態で、本当に暗中模索、五里霧中という状態でスタートした。できればそうではなくて、こういう方向性のようなものがあるとやりやすいと思う。でもそれは決定したものではなく、参考にして皆さんで協議してもらおうという意味合いのものだということ。

この2つがあるということ、町内会長に説明しておく必要があるということ、中島副会長と相談しながら、そういう意味合いが町内会長の皆さんに伝わるような説明をするということで、進めたいと思う。

【古川 仁委員】

任期が令和6年4月までだが、これ以降の協議会の人数などは具体的に出ているのか。

【小林所長】

予定では委員改選が行われ、第5期に向かう。人数は条例で決定しているので、改正がない限り、次期も定数12人に向けて改選が行われる。

【藤本会長】

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第2議題「(1) 協議事項」「町内会長との情報交換会について」を終了する。

次に、次第2議題「(2) その他」に入る。バスで行く津有めぐり開催結果について、事務局の説明を求める。

【山崎主事】

- ・参考資料4に基づき説明

【小林所長】

- ・保阪邸が国の登録有形文化財に登録される見通しであることを報告

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問・意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、参加した委員からの感想を求める。

【古川 勝夫委員】

このバスツアーで津有を巡り、いろいろな所があると本当に感心し、勉強になった。

【相馬委員】

私は元々戸野目に住んでいるが、保阪邸に入ったのは初めてだった。謙信公武道館は入ったことはあるが、相撲場は初めて見学できたので楽しかった。前島記念館も子どもの頃に古い建物は入ったことはあるが、今の建物には入ったことがなかったので、こんな風になったのかという感じで見学した。

参加人数は土曜日が12人、日曜日が14人、そのうち地域協議会委員が3人と6人。津有にはもっと人はいるが、地域協議会委員以外で興味がある人がこんなに少ないのかという印象が残った。

【大滝委員】

このバスツアーで回った所は、初めての場所ばかりだった。自宅の近くをバスの中から見学した所もあり、目と鼻の先にあっても、気がつかないような所もあった。いかに今まで津有を何も知らなかったのか、まさに白紙状態で参加したような感じであった。回ってみて、初めてこういうところがあったのかとか、こういう古い歴史を感じる場所があったのだとか、改めてその歴史というものを実感した。

【梅川委員】

謙信公武道館と前島記念館以外は初めて見学した。特に本覚坊の謙信公の話は興味深く聞かせていただき、仕事でもいかそうと思った。

【青木委員】

私は日曜日に参加した。こういうイベントは、特に子供たちのそれぞれの校区をバスで巡ってみるといのが、大事だと思う。

【中島副会長】

私は2日間参加した。2日間とも良かったので、もう少しPRすればよかったと後悔した。行った方は皆さんよかったと感じていると思う。

【藤本会長】

音声ガイドを使った詳しい説明や、写真パネルをそれぞれの場所で掲げて現在の場所と写真と比較しながらの分かりやすい表示、所長からの細かい説明もあり、2日間の事業だったが、その準備にどれだけの時間を割いたのか深く感じて、事務局の皆さんには改めてお礼を申し上げる。

さらに思ったのは、せっかく作られた資料なので、私も今後活用したい。できれば私の子供がこちらに来たときに連れて行き、全部は回れないかもしれないが、紹介したいと思う。近所の人からも本当によかったと感想をいただいております、帰ってからも資料を1日眺めていたということで、本当に感動されていた。

本当よい企画を考えていただき、感謝する。これで終わりにせずに、青木委員からの意見にもあったが、各学校にも紹介したいと考えている。私は雄志中学校の学校運営協議委員なので、まず先生方に伝えたいと思う。

以上で次第2 議題「(2) その他」を終了する。

次に、次第3 その他の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

【山崎主事】

- ・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・町内会長との情報交換会：12月13日（水）午後6時から
津有地区公民館 大会議室（予定）
- ・次回の地域協議会：1月29日（月）午後6時30分から
津有地区公民館 大会議室（予定）

【藤本会長】

以上で次第3 その他の「(1)次回開催日の確認等」を終了する。

次に、次第3 その他の「(2)その他」に入る。

その他、何かあるか。

(無しの声)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。